

序

東日本大震災から6年が経過した平成29年度は、未だ多くの子どもたちが避難先の学校で学習活動が続けるなど、震災に起因する課題が山積している一方で、着実に復興への歩みを進めた年でもありました。

まず、地域の復興に寄与する人材育成を担う「小高産業技術高等学校」、地域と共に学び共に生きる教育を進める「たむら支援学校」及び「石川支援学校たまかわ校」が、新たな学校として開校しました。

7月には本県、宮城県、山形県において南東北総合体育大会2017（インターハイ）が開催され、多くの高校生が競技や運営において活躍しました。

また、新たに南相馬市小高区と檜葉町において、避難指示の解除等に伴い地元での小中学校再開を果たしたほか、3月には、本県教育復興のシンボルでもある「ふたば未来学園高等学校」が初めての卒業生を送り出しました。

このような中、県教育委員会では、「第6次福島県総合教育計画（改定版）」の後半4年間に当たる平成29～32年度の取組を加速させるため、平成29年3月に策定した「頑張る学校応援プラン」に掲げた5つの主要施策を推進しました。

さて、本教育年報は、平成29年度における教育に関する施策概要や事業実績等を収録しており、本県教育行政を一望できる資料として、また、本県の過去の教育行政を現在まで伝える貴重な資料として、教育関係者のみならず、多方面の方々に広く御利用いただいているところです。

今後も本書が、教育施策を推進する上での参考資料として広く活用され、本県教育振興の一助となりますことを願っています。

平成30年11月

福島県教育委員会

※ 本書は、旧字体等（機種依存文字）が用いられている場合、常用漢字で表記しています。
また、敬称は省略しています。